

1 組織の使命（どのような役割を担うのか）

新たな視点や新技術の積極的な導入による維持管理費用の抑制などを図り、新ビジョンで掲げる「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」を実現して、将来世代に安全・快適で持続可能な都市構造を引き継いでいく。

- 1 道路・公園・河川の整備・維持管理・長寿命化や、地域拠点の再整備、公共空間の利活用による地域の魅力向上などを着実に推進する。
- 2 民間住宅の利活用等により市営住宅の集約再配置を推進し、住宅セーフティネットの中心である市営住宅の運営を持続可能なものとする。
- 3 市有建築物について、脱炭素にも配慮した整備や老朽化対策、公共施設マネジメントなどにおける技術支援を行う。

R7年度は、引き続き、都市ストックの整備や維持管理などを着実に進めつつ、重点課題として、

- ▶ 「公園事業」及び「市営住宅事業」はR6年度経営分析を踏まえた「実行段階」に向けた検討、
- ▶ 政策連携団体である「住宅供給公社」については、経営分析等を踏まえた今後のあり方や組織体制などの検討を進め、
- ▶ 市民の安全・安心に直結する「道路橋等の効率的・効果的な維持管理」や「雑草対策の構造改革(除草主体から防草への転換)」に取り組むとともに、
- ▶ DX推進による「区役所まちづくり整備課」の窓口業務の効率化に向けた検討を行う。

2 基本情報

(1)令和7年度局全体当初予算額

一般会計 379億円(うち一般財源 97億円)、特別会計 92億円

(2)組織(部名) (R7.4.1付)

総務用地部、道路部、河川公園部、折尾総合整備事務所、住宅部、建築部、設備部、東部整備事務所
西部整備事務所

(3)所管の政策連携団体

北九州市住宅供給公社

(4)所管の主な公共施設(運営方法:直営、指定管理、その他)

直営	・香月・黒川ほたる館
指定管理	・水環境館 ・北九州市ほたる館 ・自転車駐車場(21箇所) ・市営住宅(32,650戸)
その他	—

3 令和6年度局区X方針の振り返り

○全体の振り返り(総評)

課題のうち、一定の成果を挙げたものや、解決への方向性や取組内容を見出したものがある一方、経営分析やX会議などを通じて、実行段階に向けた更なる検討を要する課題が明確となった。

○変革が実現した課題・取組内容・市民にもたらされた効果

・勝山公園や紫川、開放されたその周辺道路などの公共空間を活用した「コクラBEAT」による各種イベントの開催により、多くの来街者で街が賑わい、市のイメージ向上とともに経済波及効果をもたらした。
・更なる民間利活用による賑わいの創出に向け、紫川(河川空間)のオープン化(規制緩和)について、管理者(福岡県)と具体的な手続きに向けて協議を進めており、今後、河川利用の自由度の増大が見込まれる。

○取組・進捗が十分でなかった項目・内容(理由)・7年度に向けた考え

・「公園事業」及び「市営住宅事業」については、経営分析を踏まえ、実行段階へ向けた検討に着手
・政策連携団体である「住宅供給公社」については、あり方検討会などを踏まえ、実施に向けた検討に着手
・市民の安全・安心に直結する「道路橋等の効率的・効果的な維持管理」については、より効率的・効果的な維持管理の実現に向けた包括的民間委託の試行に取り組むとともに、「雑草対策の構造改革(除草主体から防草への転換)」については、試験施工の効果検証結果を踏まえ、基本戦略策定に向けた検討を進める。

都市整備局 X方針 課題一覧

課題領域 A

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
DX推進	(1)区役所まちづくり整備課 における窓口業務の 効率化・業務改善の検討	(1)窓口業務(一部)の民間委託化に向けた検討

課題領域 B

政策分野	課題名	課題に対する取り組み
公園事業	(1)利用者目線による 公園の魅力向上	(1)公園の魅力を引き出す公民連携へのシフト (2)誰もが使いやすい公園づくり (3)継続的・効率的な維持管理体制の確保 (4)公園・公園施設の最適化
市営住宅 事業	(2)持続可能な 住宅セーフティネットの提供	(1)市営住宅マネジメント取組方針の策定 (2)外壁改修の最適化と維持管理 (3)建物付き売却やサブリース等に向けた準備
政策連携団体 関連	(3)今後の北九州市住宅供給公社 の利活用	(1)今後のあり方検討ワーキングの開催 (公社のあり方や組織体制などの検討) (2)公社の持続可能な賃貸経営の検討
維持管理 (道路)	(4)道路橋等の 効率的・効果的な維持管理	(1)包括的民間委託の試行 (2)-① 常盤橋のあり方検討 (2)-② 若戸大橋の長寿命化対策の推進
維持管理 (道路・河 川・公園)	(5)雑草対策の構造改革 (除草主体から防草への転換)	(1)道路における雑草対策の推進 (2)新たな雑草対策(性能規定型発注等)の検討 (3)公園における雑草対策の推進 (4)河川における雑草対策の推進

【凡例】

○課題領域

- A ・行政サービス現場改善にかかる課題
- B ・課題の掘り起こしが済み、変革の実行段階にあるもの
・課題の掘り起こしを更に進め、実行段階へ繋げていくもの
- C ・将来を見据えて、今から着手しなければならない課題